生活圏除染の進捗状況及び今後について

復興企画部　除染対策課

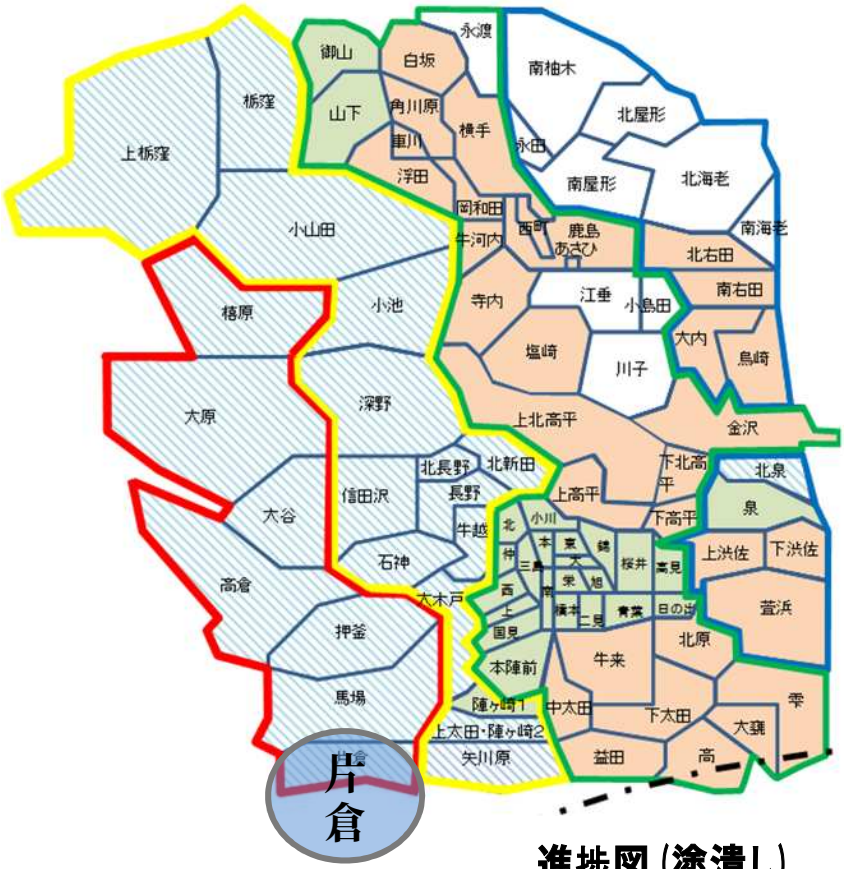
平成２７年９月１７日（木）

平成２７年度第２回南相馬市除染推進委員会

１．生活圏除染の進捗状況について

平成２７年９月１５日現在

①区域図及び進捗図



区域図（太枠線）

- 特定避難勧奨地点を含む地域
- 年間5mSv超を含む地域
- 国道6号の西部地域
- 国道6号の東部地域

進捗図（塗潰し）

- 除染実施済
- 除染作業中
- 仮置場確保済
- 仮置場確保中

①除染の現状について

赤い枠線の「特定避難勧奨地点を含む地域」の除染は既に完了しています。また、黄色枠線の「年間5ミリSV超を含む地域」についても、概ね終了しており、残すところも来月中にも終了する予定です。

現在は、原町区市街地及び鹿島区の西側郊外を中心に除染を進めており、市内東側に順次拡大中です。

②仮置場の確保状況について

鹿島区の八沢地区、真野地区について仮置場が確保できていません。

Ⅰ．八沢地区につきましては、工事車両による交通量の増加や通学路であること、また景観が悪いなどのご意見からご理解・ご協力が得られませんでした。

Ⅱ．真野地区につきましては、仮置場設置の適地が、ほ場整備予定地となっており、場所の選定すらできない状況でしたが、現在は具体的な候補地をあげて、地元区長・地権者の皆様と協議中です。

③パイロット輸送について

現在、環境省と協議をすすめ、市の南西部にある片倉仮置場から大熊・双葉町の中間貯蔵施設へのパイロット輸送にむけて搬出準備中です

片倉仮置場パイロット輸送の作業写真

セルから土のう袋を取り出す様子

取り出された土のう袋

ポリエチレン製の内袋付き土のう袋への再収納

新たなタグを付けて搬出します

②着手率表

平成２７年９月１５日現在

区　　分	進　捗　指　標	着手率
仮置場整備関係（保管管理含む）	受入対象地区面積 12,987,270／14,074,507㎡	92.3%
住民説明会関係	説明会実施面積 10,850,543／14,074,507㎡	77.1%
モニタリング・除染作業計画関係	実施面積 8,601,350／14,074,507㎡	61.1%
除　　染	実施面積 8,135,218／14,074,507㎡	57.8.%

【進捗率の算定について】
①仮置場整備：整備工事に着手した仮置場に係る受入対象地区面積
②住民説明会：実施した地区面積
③モニタリング：着手した地区面積
④除染：着手した面積

　終了した面積ではなく着手した面積としたのは、特定の物件の除染の遅れにより当該物件の存する地区の除染全体が進捗に反映されなくなることを避けるため。

２.現状の課題について

①仮置場未設置地区について

八沢地区仮置場については、分散設置を提案し協議を続けていきます。

②仮置場の契約延長について

今年度から表１のとおり、契約の更新手続きを行っていますが、ある仮置場で地権者から、更新について条件がだされるなど手続きに時間を要することがありました。

（表1）仮置場の地権者数及び更新年度

更新年度	地権者数	仮置場等数
平成２７年度	83	11
平成２８年度	85	11
平成２９年度	62	10
合　　計	230	32

※仮置場等数には、搬入路・待避所等の付属施設も含まれます。
※新設仮置場を６カ所予定しています。

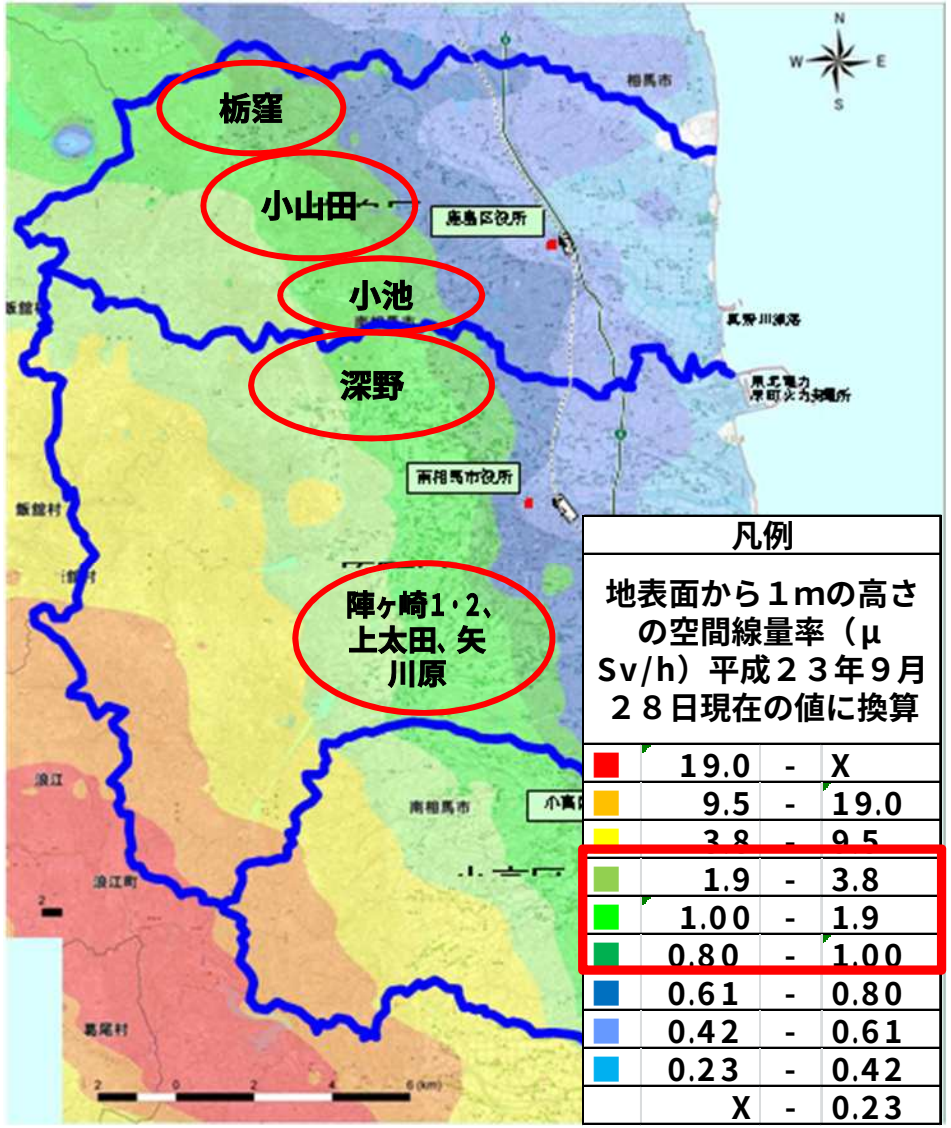
③面的除染と局所的除染ついて

線量の高低に関わらず、面的除染を希望される所有者の方が居られます。

④屋敷林（イグネ）について

除染を行っても、十分に線量が下がらない場合があります。

４．除染の結果について



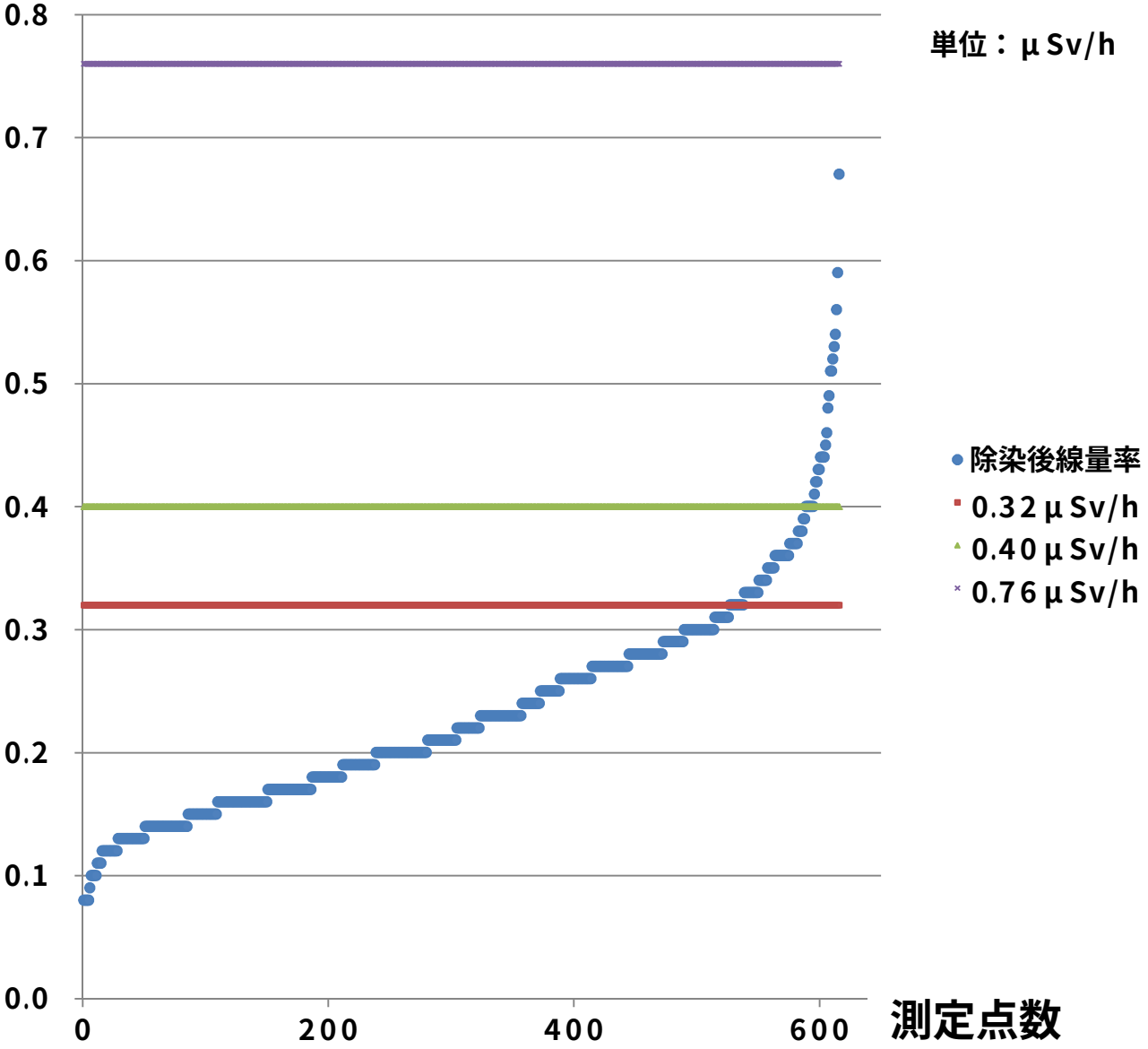
南相馬市除染実施計画（第４版）では、赤（特定避難勧奨地地点を含む地域）・黄色（年間５ミリシーベルトを超える地点を含む地域）エリアの目標を、市民の年間の追加被ばく線量を平成２３年９月末と比べて、放射性物質の物理的減衰等を含めて６０％低減 することを目指すとしています。

次ページ以降の除染結果は、赤丸の部分であることから、凡例それぞれの最小値に60％低減させた値を基準としました。

0.80×60％低減＝0.32μSv/h
1.00×60％低減＝0.40μSv/h
1.90×60％低減＝0.72μSv/h

左図：第５次航空機モニタリング及び福島第一原子力発電所から80km圏外の航空機モニタリング （平成24年6月22日～28日測定）文部科学省

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（栃窪行政区）



除染実施期間
平成２６年４月から
平成２７年１月まで

測定点数：６１６地点

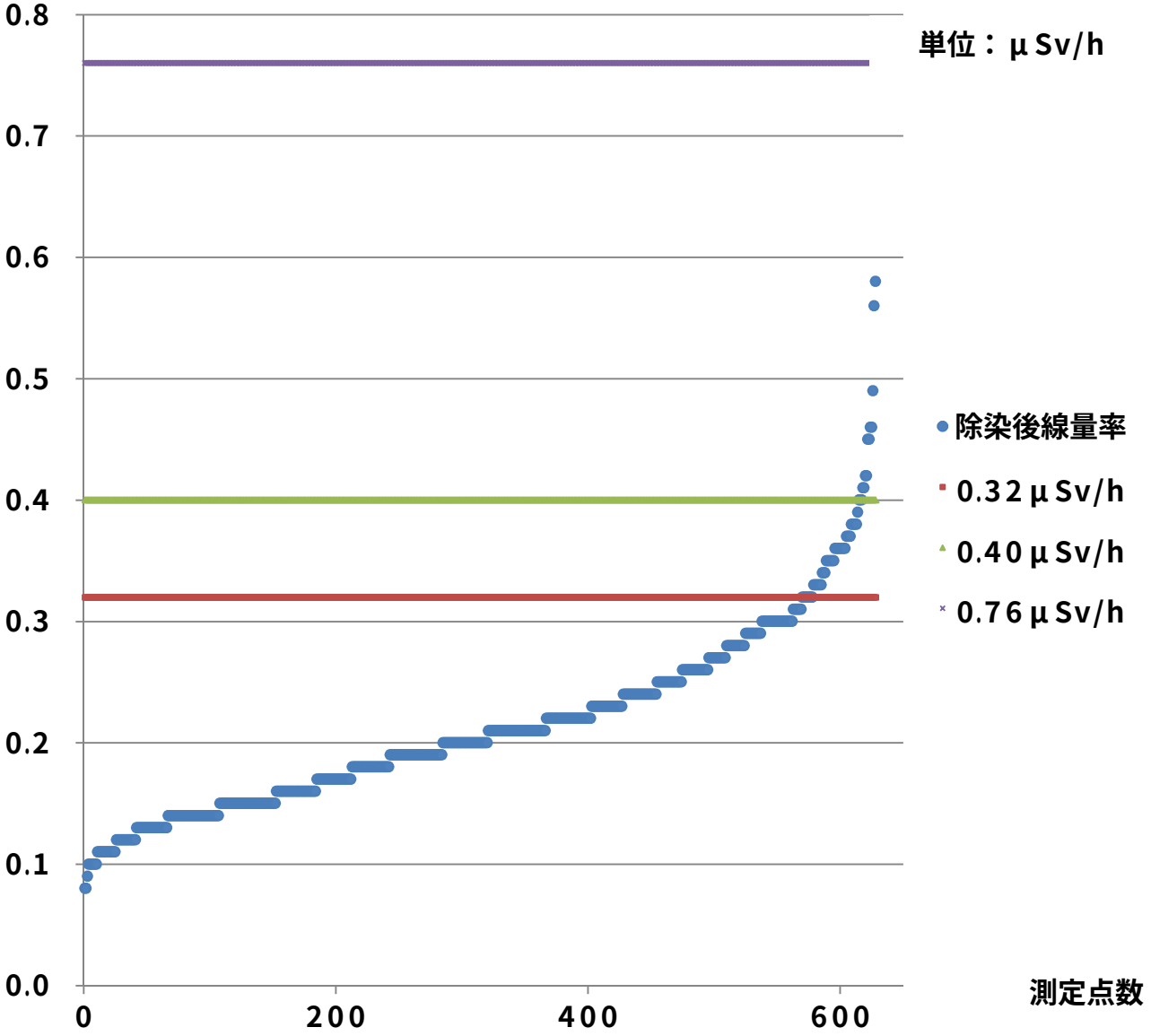
最高地点：0.67μSv/h

0.32μSv/h超：７８地点
（12.7%）

0.40μSv/h超：２１地点
（3.4%）

0.76μSv/h超：０地点
（0%）

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（小山田行政区）



除染実施期間
平成２６年４月から
平成２７年２月まで

測定点数：628地点

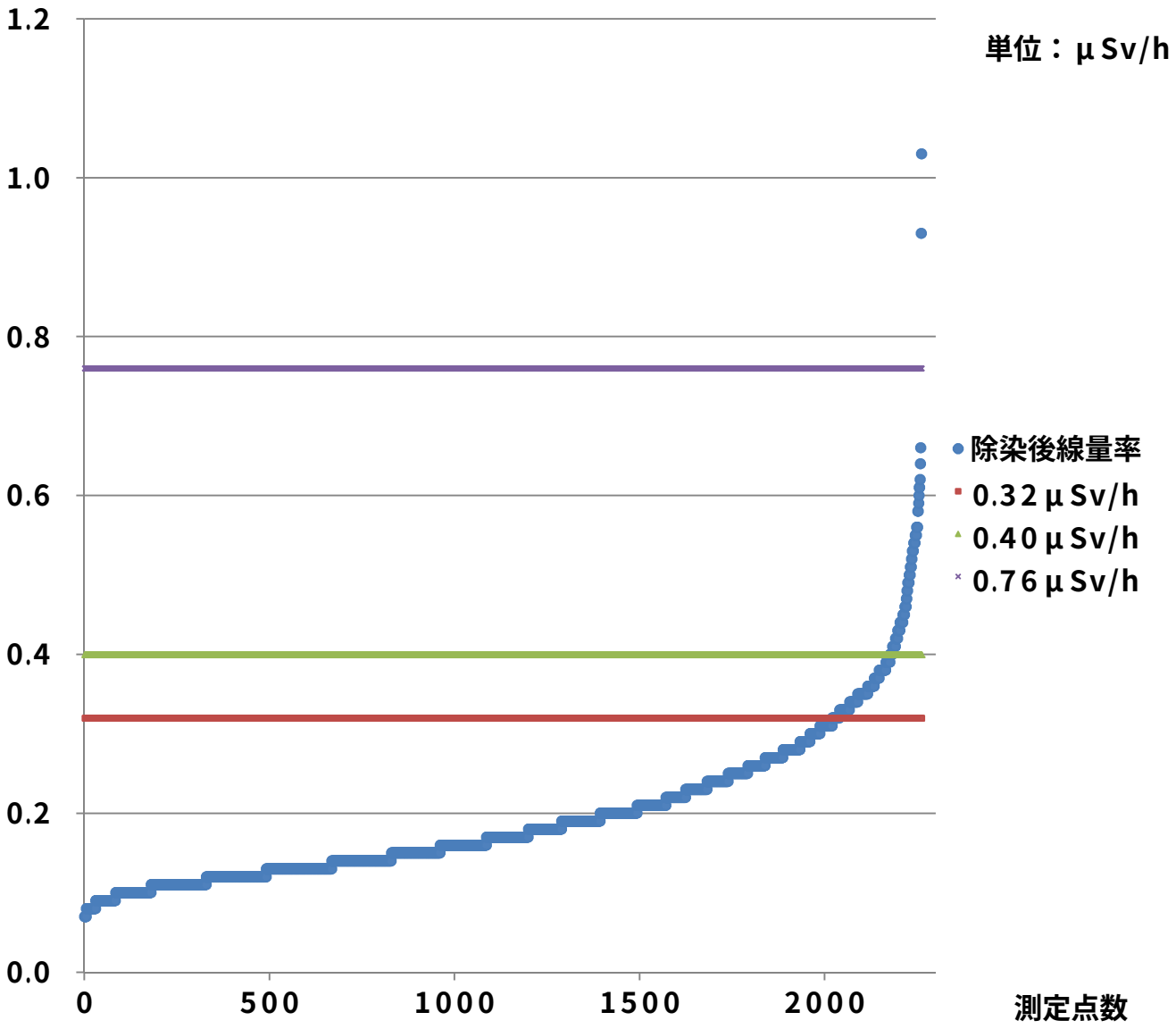
最高地点：0.58μSv/h

0.32μSv/h超：50地点
（8.0%）

0.40μSv/h超：11地点
（1.8%）

0.76μSv/h超：0地点
（0%）

４.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（小池行政区）



除染実施期間
平成２６年４月から
平成２７年２月まで

測定点数：2,262地点

最高地点：1.03μSv/h

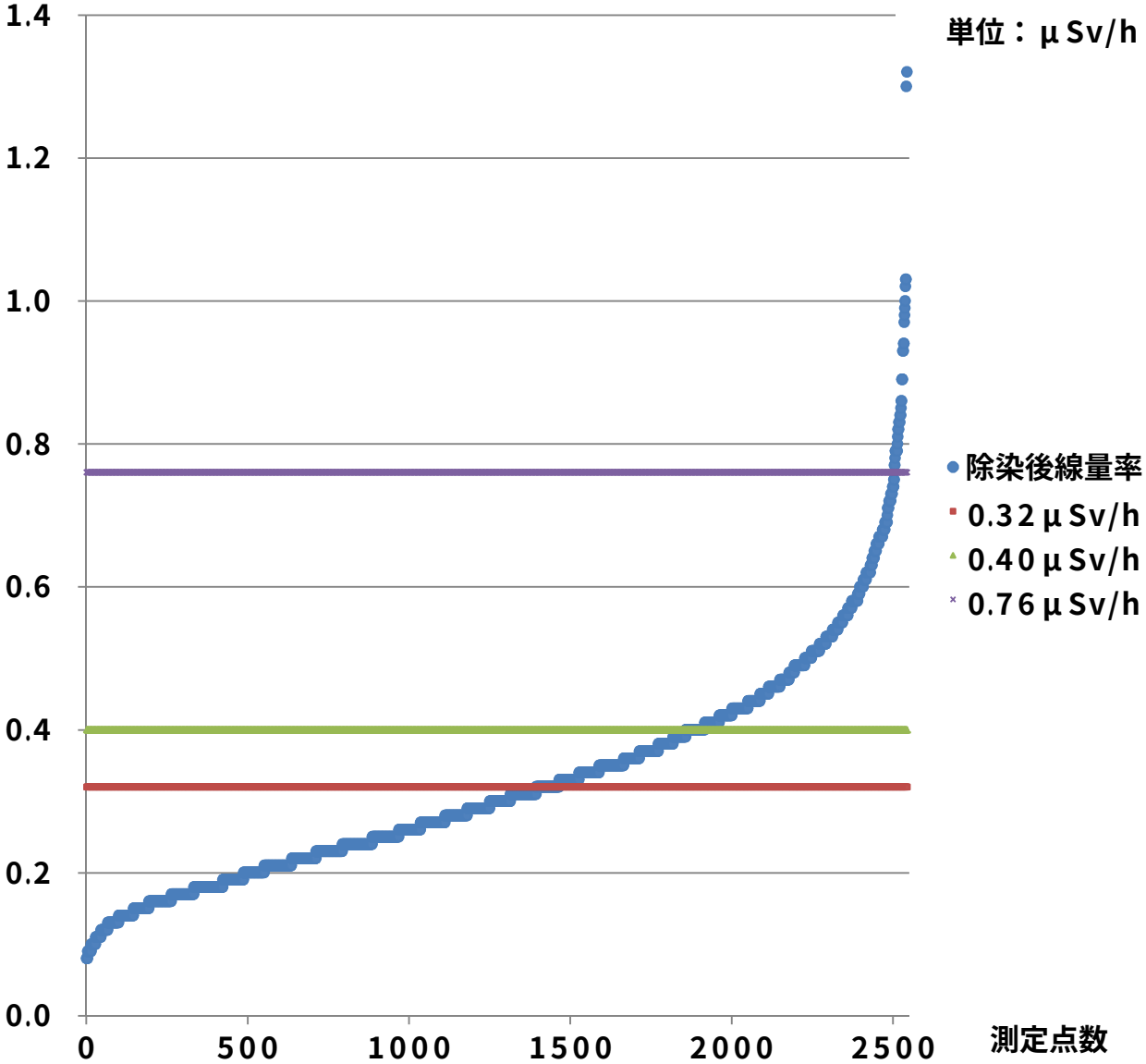
0.32μSv/h超：222地点
（9.8%）

0.40μSv/h超：79地点
（3.5%）

0.76μSv/h超：2地点

（0.09%）

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（深野行政区）



除染実施期間
平成２６年３月から
平成２７年１月まで

測定点数：2,543地点

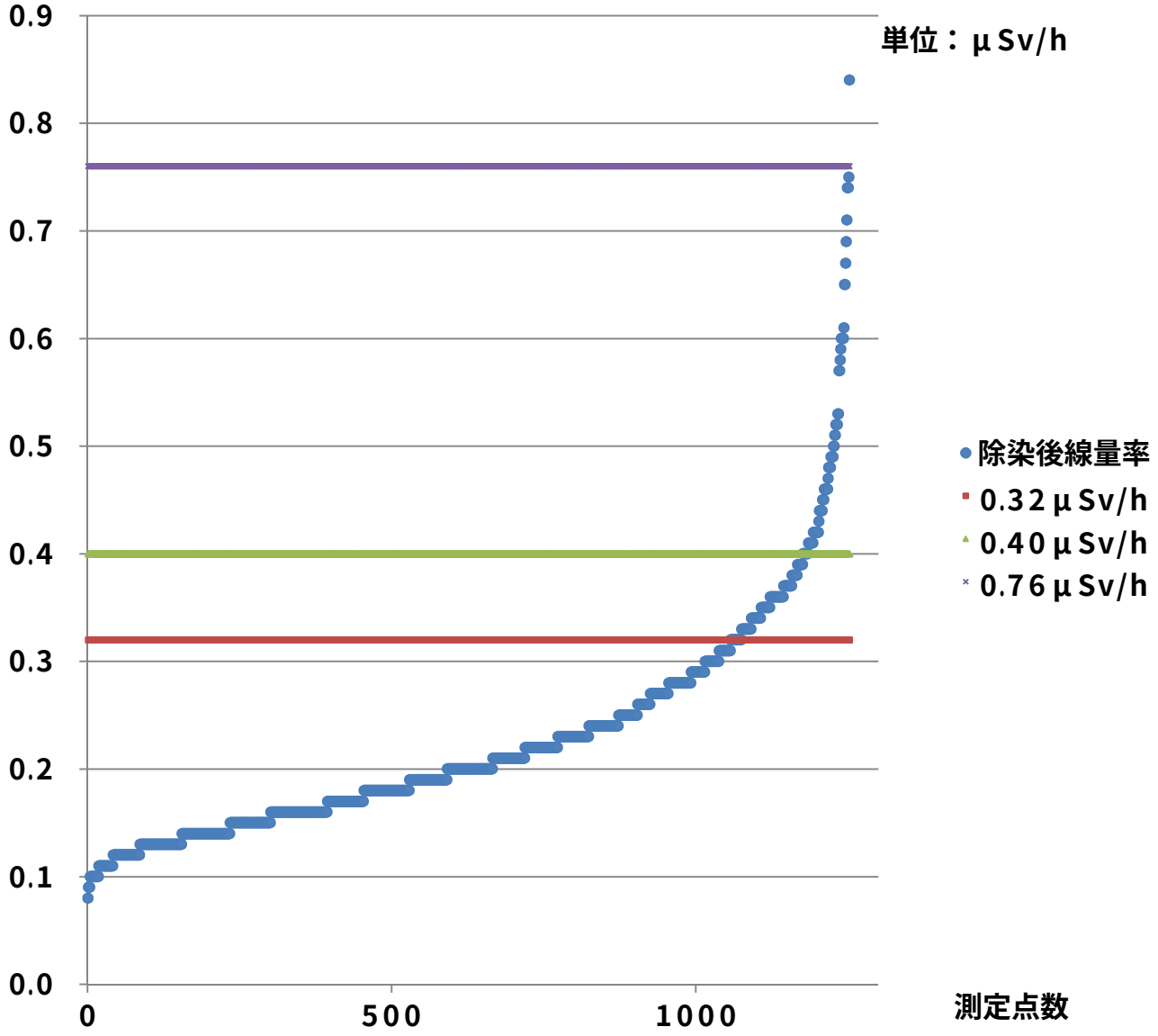
最高地点：1.32μSv/h

0.32μSv/h超：1,016地点
（42.3%）

0.40μSv/h超：627地点
（24.7%）

0.76μSv/h超：39地点
（1.53%）

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（陣ヶ崎一行政区）



除染実施期間
平成２６年１２月から
平成２７年１０月予定まで

測定点数：1,253地点

最高地点：0.96μSv/h

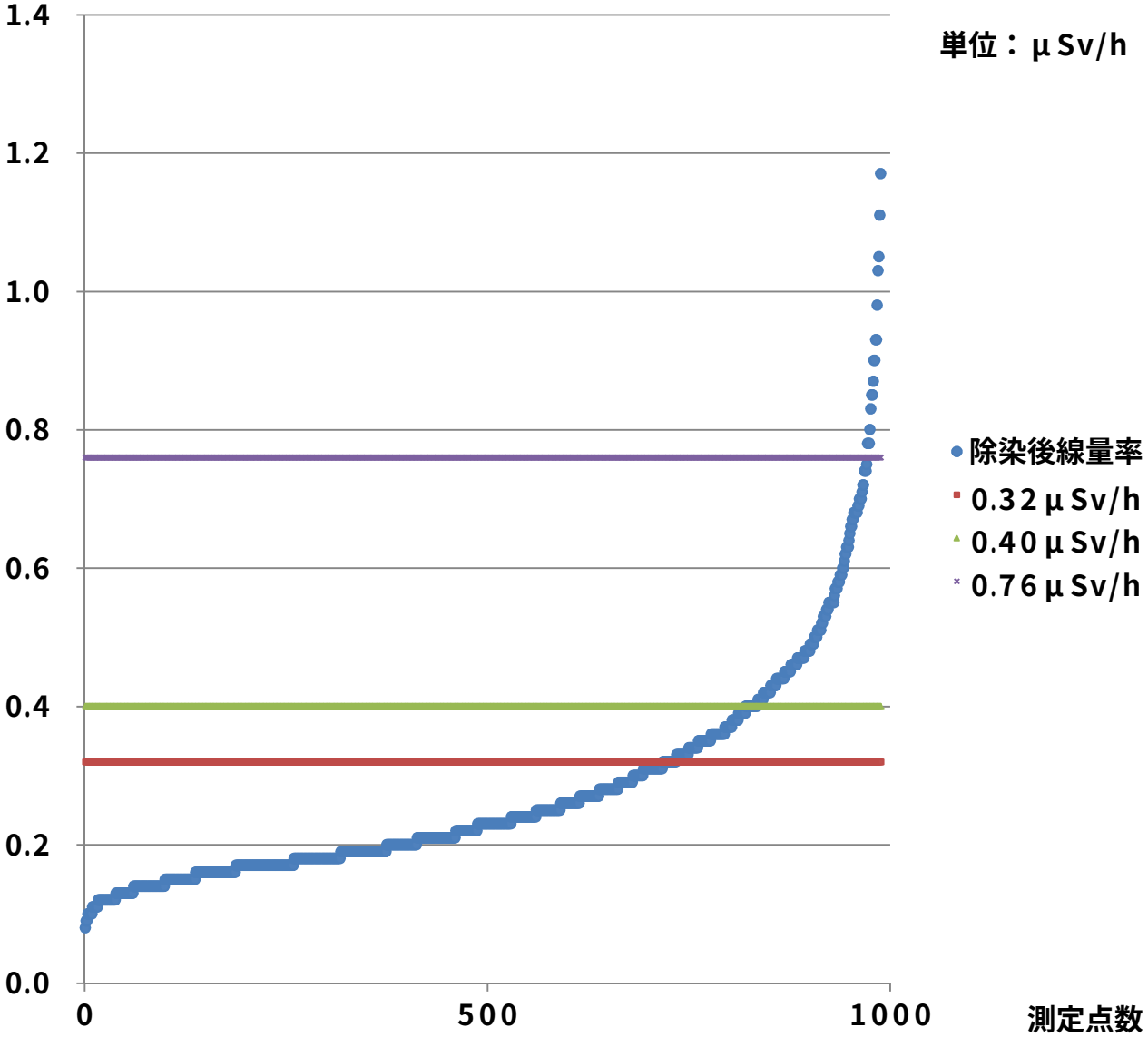
0.32μSv/h超：178地点
（14.2%）

0.40μSv/h超：68地点
（5.4%）

0.76μSv/h超：1地点
（0.08%）

※陣ヶ崎１行政区は、除染実施中が２件及び所有者の希望により１０月から除染を開始します。そのため、陣ヶ崎１のデータは速報値となります。

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（陣ヶ崎二行政区）



除染実施期間
平成２６年５月から
平成２７年６月まで

測定点数：988地点

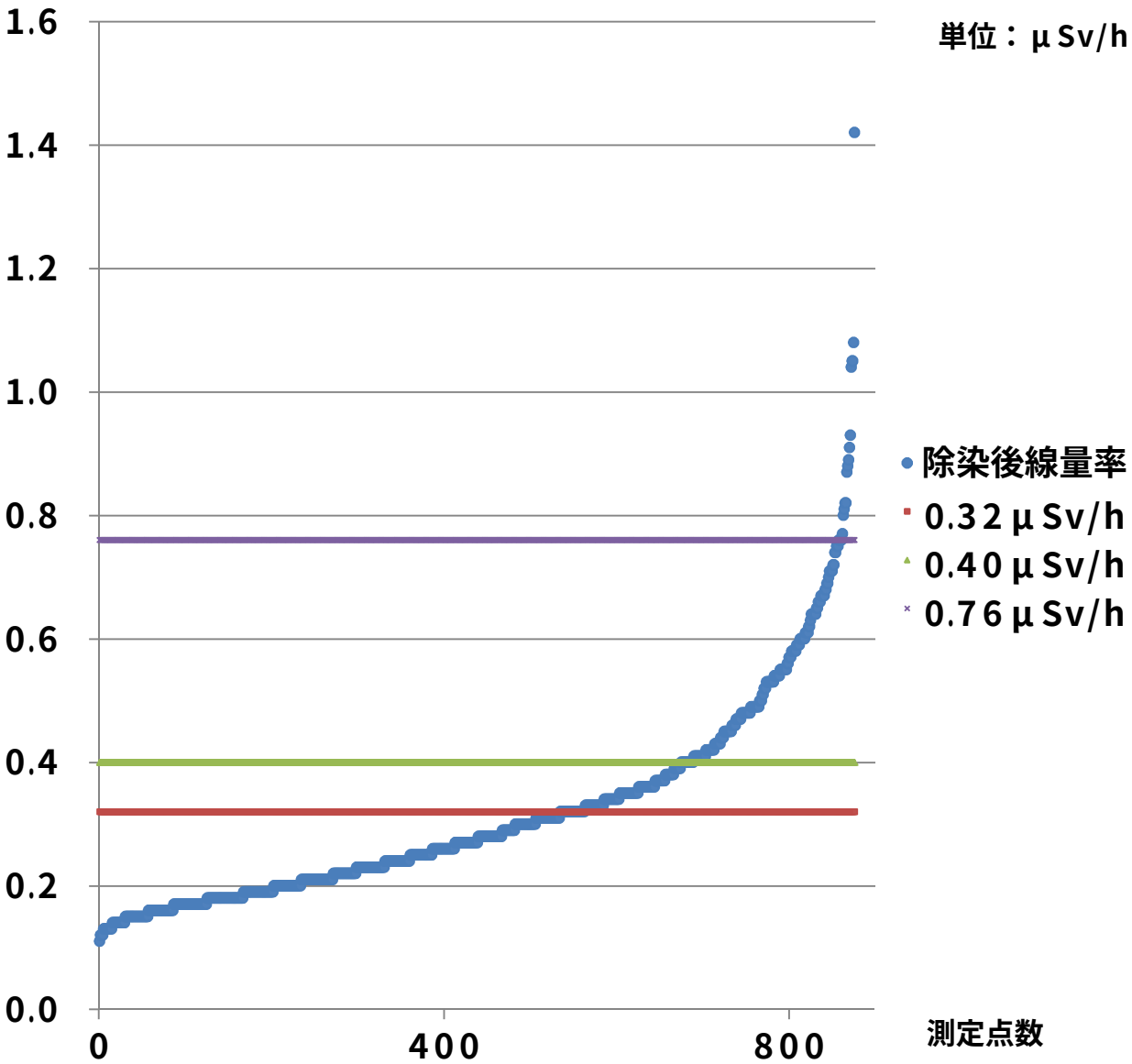
最高地点：１１７μSv/h

0.32μSv/h超：254地点
（25.7%）

0.40μSv/h超：153地点
（15.5%）

0.76μSv/h超：17地点
（1.72%）

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（上太田行政区）



除染実施期間
平成２６年４月から
平成２７年３月まで

測定点数：８７６地点

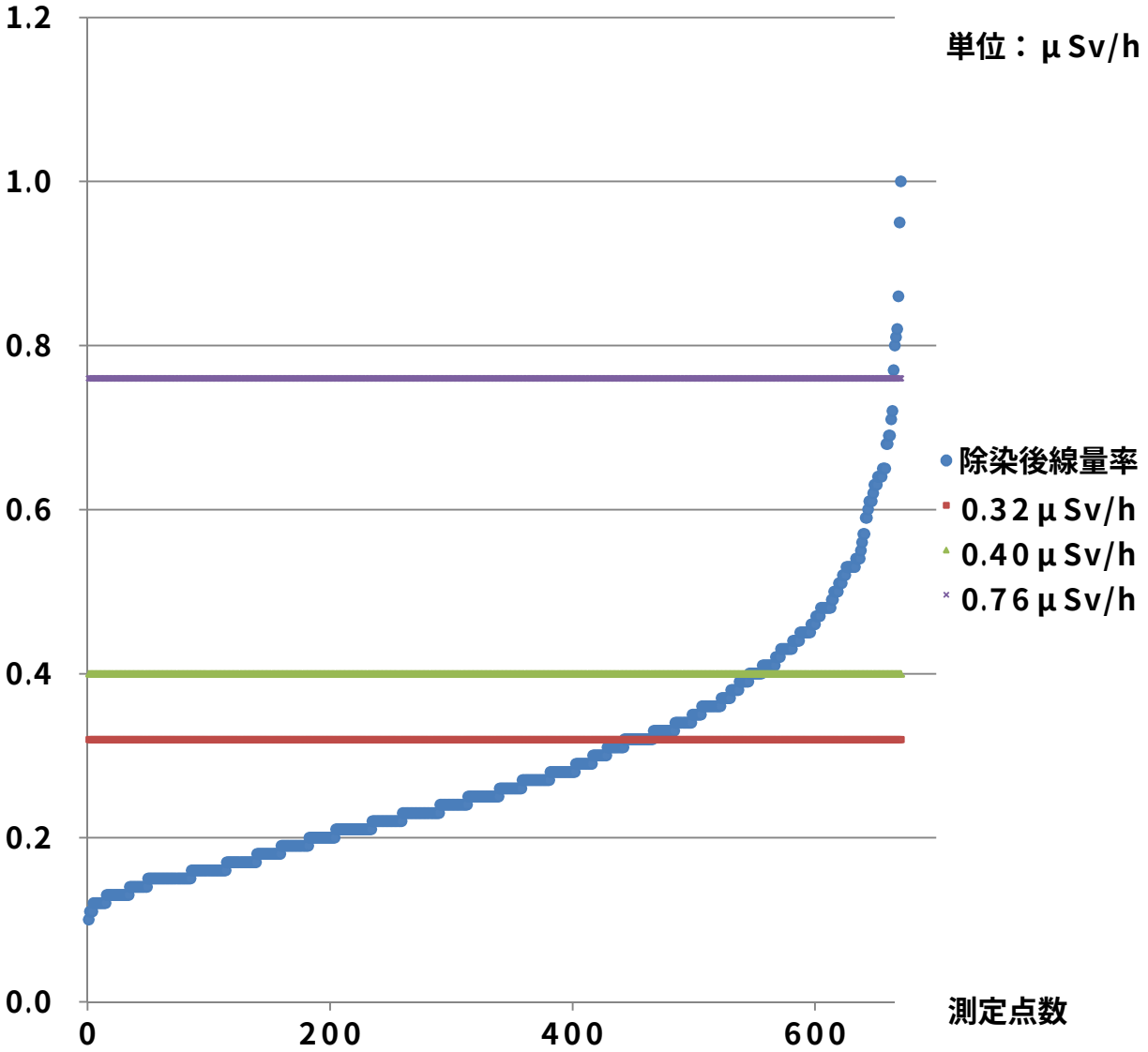
最高地点：1.42μSv/h

0.32μSv/h超：３１３地点
（30.6%）

0.40μSv/h超：１８７地点
（17.1%）

0.76μSv/h超：１５地点
（1.04%）

4.除染の結果について
除染後の放射線量率の散布図　（矢川原行政区）



除染実施期間
平成２６年６月から
平成２７年５月まで

測定点数：671地点

最高地点：1.00μSv/h

0.32μSv/h超：205地点
（30.6%）

0.40μSv/h超：115地点
（17.1%）

0.76μSv/h超：7地点
（1.04%）

線量が十分に下がらないと考えられる理由

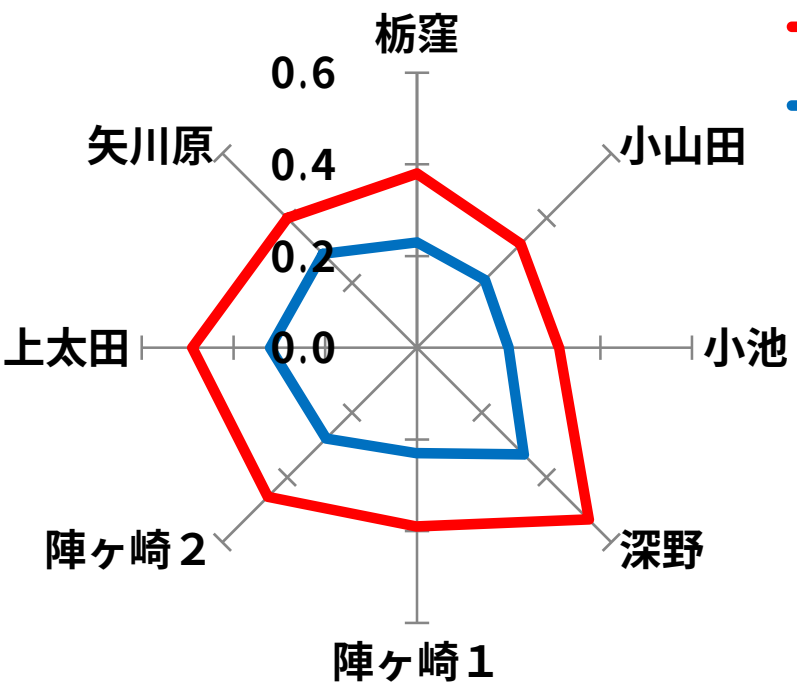
区分	除染前	除染後	低減率
●	1.20	1.03	14.1%
●	0.55	0.44	20.0%
●	0.57	0.40	29.8%
●	0.38	0.20	47.4%
●	0.45	0.26	42.2%

●測定地点は、土のはぎ取り、埋戻しを行った場所ではありますが、近くに屋敷林があるため、除染前の1.20μSV/hから除染後の1.03μSv/hと、低減効果が低い結果となっています。

他の屋敷林に近い場所は、●が0.55μSv/hから0.44μSv/h（20.0%低減）、● が0.57μSv/hから0.40μSv/h（29.8%低減）となっており、除染後も0.4μSv/hを超える状態です。

また、屋敷林から離れている●の玄関前及び●の進入口と比べると0.38μSv/hから0.20μSv/h（47.4%低減）、 0.45μSv/hから0.26μSv/h（42.2%低減）と同じ除染方法でも顕著に差が出ています。

（参考）除染の結果について　全体の平均結果



単位：μSv/h

行政区	除染前	除染後	低減率
栃窪	0.38	0.23	39.5%
小山田	0.32	0.21	34.4%
小池	0.31	0.20	35.5%
深野	0.53	0.33	37.7%
陣ヶ崎１	0.39	0.23	41.0%
陣ヶ崎２	0.46	0.28	39.1%
上太田	0.49	0.32	34.7%
矢川原	0.40	0.29	27.5%

除染を行った結果、27.5%から41.0%を低減させることができました。「年間５ミリシーベルトを超える地域は、陣ヶ崎１地区を除いて一当たりの除染作業を終了しました。

今後は、除染結果を精査し、フォローアップ除染等の準備のためデータを整理していきます。